

第11回 がん臨床試験セミナー Live 配信

～考え方から実践まで～

(JSCTR-ESN.22-05)

がん領域における、専門性の高い実践的な内容をタイムリーに提供することを目的に、2012年から年1回のペースで実施しています。がん領域臨床試験に関わるにあたって必要な**考え方から実践に至るまで**、広く学習することが目標です。医療機関、アカデミア、製薬企業と所属の如何を問わず、がん臨床試験に関わる方、がん領域試験に興味をお持ちの方は、初学者から経験者まで、どなたでも参加いただけます。Webinarでの開催も3回目になりました。チャット機能を利用して質問を受け付けます。インタラクティブな学習の場となることを期待しています。熱い週末を過ごしましょう。

日 程 : 2022年10月29日(土) 9:25 ~ 17:10

開催形式 : WEBでの開催 (Zoom ウェビナーを予定)

対象者 : がん臨床試験に関わるCRC, CRA, DM, 医薬品開発担当者

定 員 : 約70名

参加費 : 会員 6,000円、非会員 8,000円
 ※ JSCTR 賛助会員は一口につき一名を会員価格とさせていただきます。

参加申込 : WEBフォームよりお申込みください。申し込みは[こちら](#)
 申込〆切: 2022年10月20日(木) 15時
 ※ その他詳しくは[日本臨床試験学会ホームページ](#)をご確認ください。

プログラム

(敬称略)

9:25~9:30	オリエンテーション (5分)	JSCTR 企画研修委員会
9:30~10:30	がん臨床試験の生物統計学-基礎入門編-	東京大学大学院情報学環 大庭幸治
10:40~11:40	乳癌治療と臨床試験 Cutting Edge	愛知県がんセンター 岩田広治
11:50~12:50	バイオマーカー検査(遺伝子含む)とがん臨床試験~肺がんを題材に~	国立がん研究センター中央病院 大熊裕介
12:50~13:30	休憩 (40分)	
13:30~14:30	がん臨床試験の生物統計学-中級編-	東京大学大学院医学系研究科 野村尚吾
14:40~15:40	がん臨床試験のデザイン ~消化器癌領域を題材に~	聖マリアンナ医科大学 砂川 優
15:50~16:50	がん領域試験-効果判定と安全性評価-	国立がん研究センター中央病院 片山 宏
16:50~17:00	総括 (10分)	JSCTR 企画研修委員会

【JSCTR 企画研修委員】

毛利光子, 佐々木哲哉, 深川良美, 野中美和, 小出恵子

【お問い合わせ】

一般社団法人日本臨床試験学会 事務局

TEL: 03-5206-4005 (平日 9時~17時) / E-mail: staff@j-sctr.org

第11回 がん臨床試験セミナー 講義内容についての解説

がん臨床試験の生物統計学 —基礎入門編—

東京大学大学院情報学環

大庭幸治

統計を専門としない者が『がん領域臨床試験』に関わって目にする統計に関する基本的な事項（DLT、MTD、CRM、検出力、真のエンドポイントなど）を、用語の説明を交えながら解説します。

乳癌治療と臨床試験 Cutting Edge

愛知県がんセンター

岩田広治

乳癌治療と乳癌領域臨床試験の最先端の内容を学習します。

バイオマーカー検査（遺伝子含む）と
がん臨床試験 ～肺がんを題材に～

国立がん研究センター中央病院 大熊裕介

肺がん薬物療法のトピックスと最新の話、および臨床試験の実施者に必要なバイオマーカー（遺伝子変化を含む）について解説します。

がん臨床試験の生物統計学 —中級編—

東京大学大学院医学系研究科

野村尚吾

近年のがん免疫療法の臨床試験では、長期生存例の評価、生存曲線が遅れて乖離する場合の評価、TMB や MRD などのバイオマーカーを踏まえたデザイン、周術期試験のエンドポイント選択といった場面で新しいアプローチの導入が進みつつあります。これに関連する新しい統計的トピックスを統計の非専門家向けに、事例を踏まえながら解説します。

がん臨床試験のデザイン

～消化器癌領域を題材に～

聖マリアンナ医科大学

砂川 優

消化器がん（特に大腸がん）の最新治療と、臨床試験の実施者に必要ながん臨床試験のデザインについて解説します。

がん領域試験

—効果判定と安全性評価—

国立がん研究センター中央病院

片山 宏

がん臨床試験の固形がんの治療効果判定のガイドラインである RECIST と有害事象共通規準である CTCAE について学習します。

20220808